

大学院史料演習『小右記』講読から

本演習は、下向井ゼミ院生第一号稲葉靖司君が入学した一九九五年四月に始まった。はじめての演習では、文学部院生の菅真城君に模範発表をしていただき、その次から今日まで、受講生の間で準備・発表のノウハウを受け継ぎながら継続してきた。一九七一年(?)に坂本賞三先生が文学部大学院で始められた小右記演習の伝統は、学校教育学部下向井ゼミに根を下ろしつつある。それは広島王朝国家論研究の灯火を燃やし続けることでもある。

一九九七年度から、古代中世史専攻のM1に、担当範囲のなかで興味を引いた問題についてレポートして、本誌に掲載してもらおうことにした。

演習日	担当条	担当者
一九九五年		
四月二八日	正暦六年正月二日条	菅 真城
五月一二日	正暦六年正月五日条	稲葉靖司
五月一九日	正暦六年正月九日条	木場正浩
五月二六日	正暦六年正月一日・一九日条	上村賢一
六月 二日	正暦六年正月二六日条	稲葉靖司
六月 九日	正暦六年二月二日・三日・七日条	木場正浩
六月一六日	正暦六年二月二六日・二八日条	上村賢一
六月三〇日	正暦六年二月一七日条	稲葉靖司
七月 七日	正暦六年三月八日条	木場正浩
九月 一日	正暦六年三月一〇日条	上村賢一

一九九六年		
四月一二日	長徳元年四月四日・五日条	稲葉靖司
四月一九日	長徳元年四月六日・一日・二四日条	大迫宣之
四月二六日	長徳元年五月七日・二一日・二六日・六月二一条	吉村晃一
五月一七日	長徳元年六月一九・二一日条	大迫宣之
五月二三日	長徳元年七月二四日・二七日・八月三日条	吉村晃一
六月 七日	長徳元年一〇月一日条	大迫宣之・吉村晃一
九月一三日	長徳二年正月五日・六日条	吉村晃一
九月二七日	長徳二年正月一〇日・一六日条	大迫宣之
一九九七年		
四月一日	長徳二年二月五日・一日条	吉村晃一
四月一八日	長徳二年三月二日・四日・一〇日条	大迫宣之
四月二五日	長徳二年三月一九日・二八日条	岡井真央人
五月 二日	長徳二年四月一日条	石原智則
五月 九日	長徳二年四月七日条	黒田信二
五月二四日	長徳二年四月二四日条	岡井真央人
五月三〇日	長徳二年四月二四日条	石原智則
六月 六日	長徳二年四月二五日・二八日条	黒田信二
六月一三日	長徳二年五月一日・二日条	岡井真央人
六月二〇日	長徳二年五月二日・三日・四日条	石原智則
七月 四日	長徳二年五月五日・六日・一〇日条	岡井真央人
七月一一日	長徳二年五月二一日・一五日・一九日条	石原智則
七月一八日	長徳二年五月二一日・六月五日条	岡井真央人
七月二五日	長徳二年六月七日・八日条	石原智則